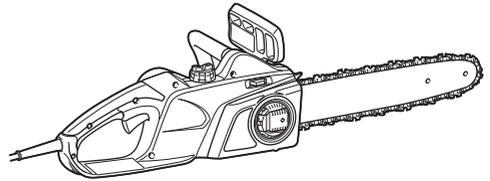


Makita

取扱説明書

電気チェーンソー

- 300mm
モデル MUC3041
- 350mm
モデル MUC3541
- 400mm
モデル MUC4041



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づき技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは電気チェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ チェンソー安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ チェーン刃の取り付け・取りはずし方およびチェーン刃の調整	14
・ チェーン刃の取り付け方	14
・ チェーン刃の取りはずし方	19
・ チェーン刃の調整	20
・ チェーンオイルについて	22
・ チェーンブレーキ	23
・ ブレーキの操作	23
・ ブレーキの解除	23
・ スイッチの操作	25
・ 切断方法	25
・ チェンソーによる各種の作業方法	26
・ 基本的な作業	26
・ 各種の切断作業例	27
・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）	27
・ 枝払い作業	27
・ 造材作業（倒した木を切断する作業）	28
・ チェンソーの持ち運び	29
・ 保守・点検について	30
・ 上刃および横刃の目立て	30
・ デプスゲージの調整方法	31
・ ガイドバーの清掃	31
・ スプロケットの交換	32
・ 本製品の保管	32
・ 本製品のお手入れ	32
・ ご修理の際は	32

主要機能

主要機能	モデル	MUC3041	MUC3541	MUC4041
電動機		直巻整流子電動機		
電圧		単相交流 100 V		
電流		15 A		
周波数		50-60 Hz		
消費電力		1,430 W		
ガイドバー長さ		300 mm	350 mm	400 mm
チェーンスピード		14.5 m/s		
使用チェーン刃		オレゴン 91PX-46E	オレゴン 91PX-52E	オレゴン 91PX-56E
本製品寸法 (チェーン刃、 ガイドバー除く)		長さ 455 mm × 幅 245 mm × 高さ 200 mm		
質量 (チェーン刃、 ガイドバー除く)		3.9 kg		
振動 3 軸合成値		4.7 m/s ²		

- ・ 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
- ・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
 - ・ 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
 - ・ ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。
10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェンソーを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
3. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
 - ・ 本製品がはね返り、けがの原因となります。
4. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
5. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・ 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 作業中は常に手袋、保護メガネ、耳栓、チェーンソー用防護ズボンを着用し、履き物は滑りにくい物を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。

[事業者の方へ]

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

(関連法令)

労働安全衛生法第59条第3項

安全衛生特別教育規程第10条※

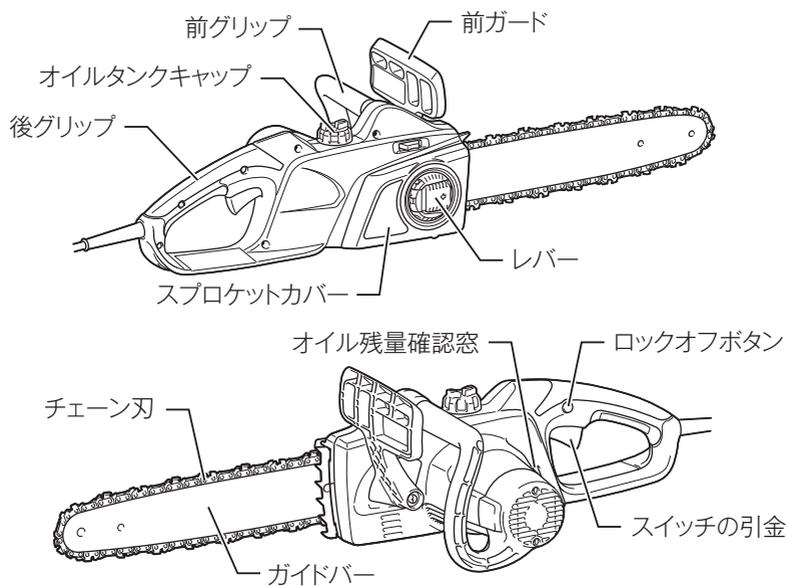
労働安全衛生規則第36条第8号※

※ただし、2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2、労働安全衛生規則は第36条第8号および8号の2となります。

⚠ 注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
2. 使用しないときは、チェーンカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない所に保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
 - ・ 本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
5. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ガイドバーが挟みつけられると、けがの原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ チェーンオイル (100 mL)
- ・ チェーンカバー

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ チェーン刃
 - 91PX-46E 部品番号：A-55647 (MUC3041 用)
 - 91PX-52E 部品番号：A-55653 (MUC3541 用)
 - 91PX-56E 部品番号：A-55669 (MUC4041 用)
- ・ ガイドバー
 - 部品番号：165200-0 (MUC3041 用)
 - 部品番号：165201-8 (MUC3541 用)
 - 部品番号：165202-6 (MUC4041 用)
- ・ デプスゲージジョインタ
 - 部品番号：D953100090
- ・ 丸ヤスリ
 - 直径 4 mm (ハンドル付)：部品番号：A-44024
 - 直径 4 mm (ハンドルなし)：部品番号：D953003090
- ・ 平ヤスリ (ハンドルなし)
 - 部品番号：D953003060
- ・ ハンドル (ハンドルなしタイプの丸ヤスリ、平ヤスリ用)
 - 部品番号：D953004010
- ・ フェイスシールド
 - 部品番号：A-13742
- ・ チェーンオイル (1 L×1個)
 - 部品番号：A-34702

使い方

チェーン刃の取り付け・取りはずし方およびチェーン刃の調整

⚠ 警告

チェーン刃の取り付け、取りはずしおよびチェーン刃の調整の際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

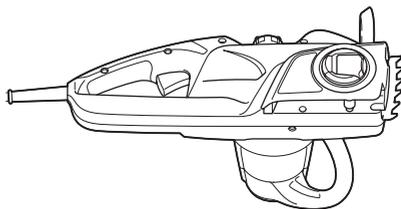
⚠ 注意

チェーン刃の取り付け、取りはずしおよびチェーン刃の調整の際は、必ず手袋をはめて行ってください。

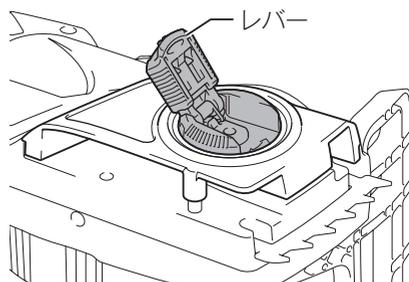
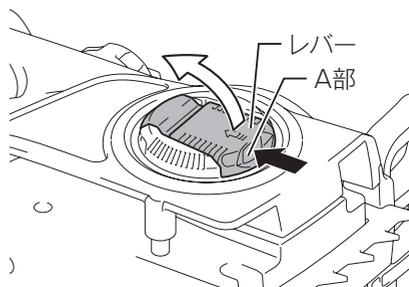
- ・ けがの原因になります。

チェーン刃の取り付け方

1. 本製品を準備します。

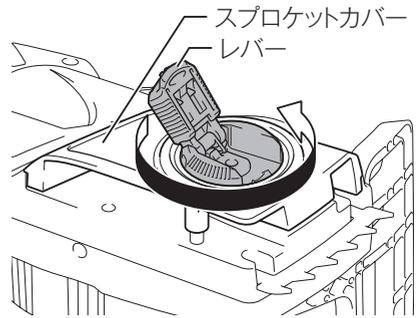


2. レバーの A 部を押し込みながらロックするまで起こします。

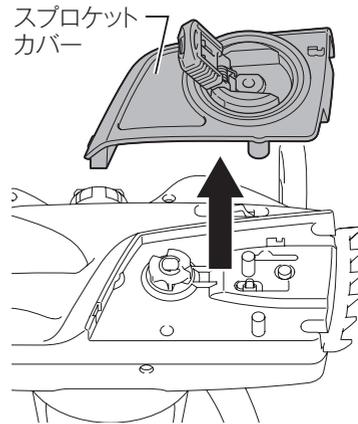


使い方

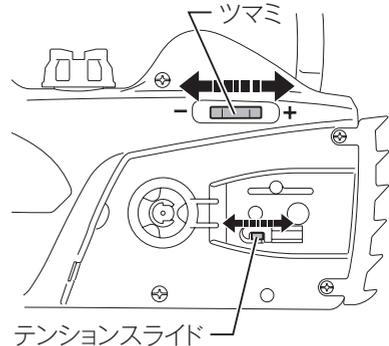
3. スプロケットカバーをはずすため、レバーを左（反時計回り）に回します。スプロケットカバーが手ではずせるまで回します。



4. スプロケットカバーをはずします。

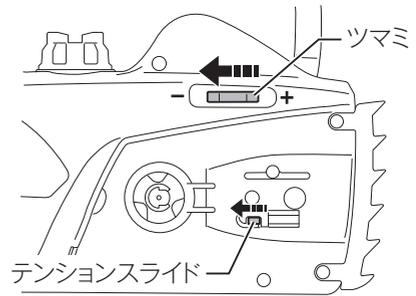


5. ツマミとテンションスライドは連動して動きます。

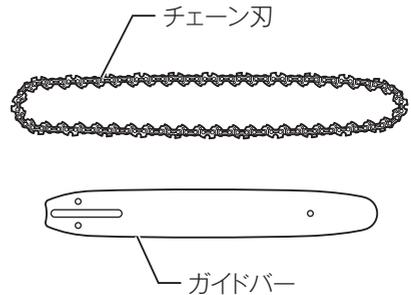


使い方

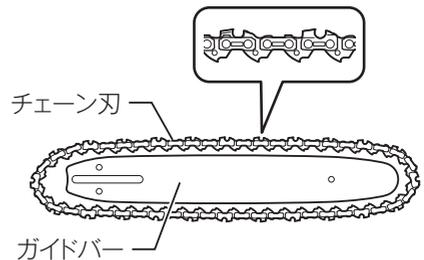
テンションスライドが左端にくるまでツマミを矢印方向（マイナス方向）に回します。



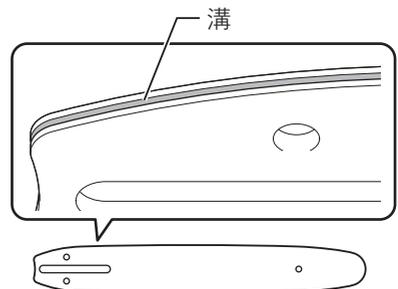
6. チェーン刃とガイドバーを準備します。



7. ガイドバーを囲むようにチェーン刃を配置します。
チェーン刃の向きは図のようにしてください。
チェーン刃の向きが反対にならないように注意してください。

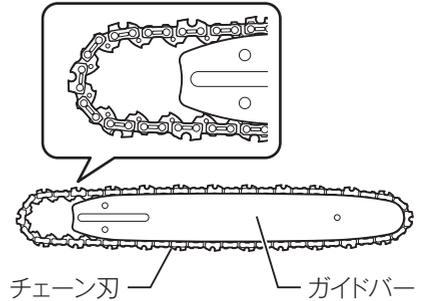


8. ガイドバー外周の溝に沿ってチェーン刃を取り付けます。

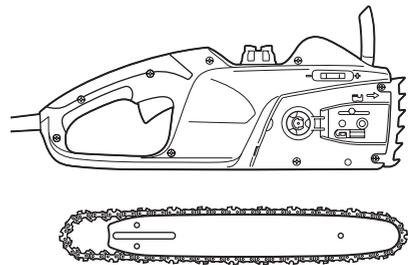


使い方

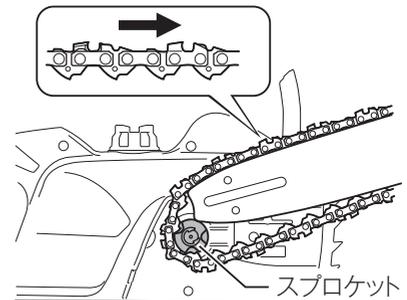
9. ガイドバー外周の溝にチェーン刃を挿し込みます。
ガイドバーの後端とチェーン刃の間に空間があくようにします。



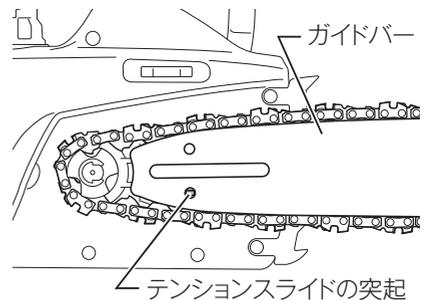
10. スプロケットカバーをはずした本製品とチェーン刃付ガイドバーを準備します。



11. 本製品にチェーン刃付ガイドバーを取り付けます。本製品のスプロケットにチェーン刃を引っ掛けます。チェーン刃は矢印方向に回転しますのでチェーン刃の方向を図のようにセットします。

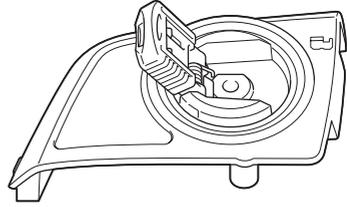


12. その状態のままガイドバーの丸穴をテンションスライドの突起へ合わせます。

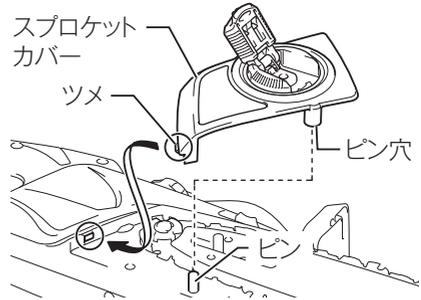


使い方

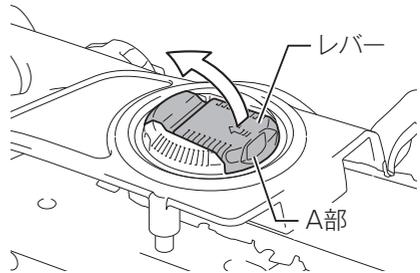
- 13.チェーン刃付ガイドバーを固定するため、スプロケットカバーを本製品に取り付けます。



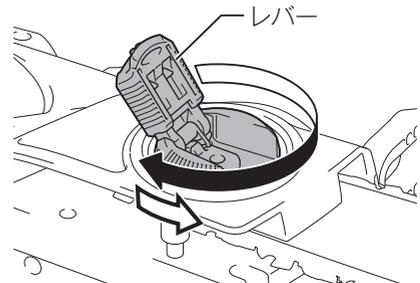
- 14.スプロケットカバーのツメとピン穴を図のように合わせて取り付けます。



- 15.レバーがスプロケットカバーにおさまっている場合、A部を押し込みながらロックするまで起こします。

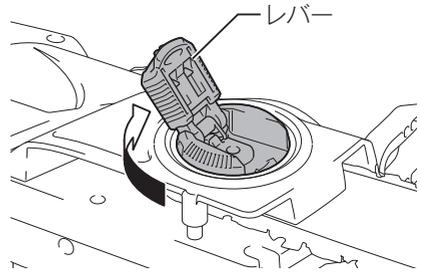


- 16.レバーを右(時計回り)に回してナットを一旦締め付けた後、レバーを反対方向に回してナットを軽くゆるめます。

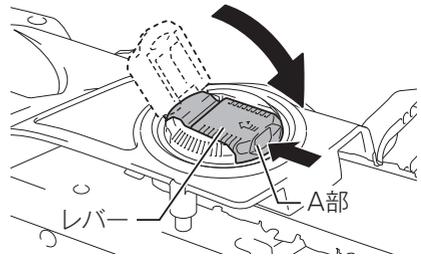


使い方

17. チェーン刃の調整（手順は 20 ページ参照）に従って、チェーン刃の張りを調整し、レバーを右（時計回り）に回してナットをしっかりと締めます。

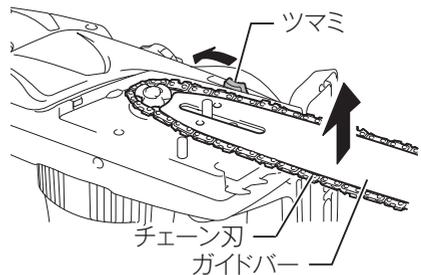


18. A 部を押し込みながらレバーを元の位置へ倒します。



チェーン刃の取りはずし方

1. 「チェーン刃の取り付け方」手順 1 ～ 3 の要領でスプロケットカバーをはずします。
2. チェーン刃とガイドバーを持ち上げ、本製品より取りはずします。



使い方

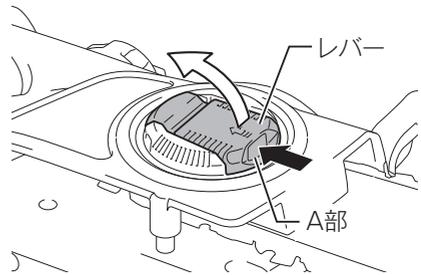
チェーン刃の調整

⚠ 警告

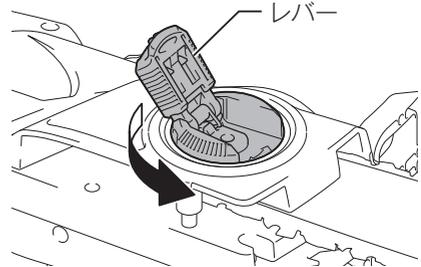
チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。

- ・ 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

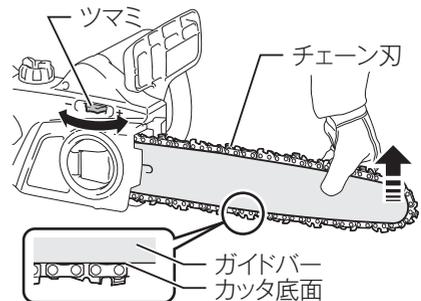
1. A部を押し込みながらロックするまで起こします。



2. レバーを左（反時計回り）に回してナットを軽くゆるめます。

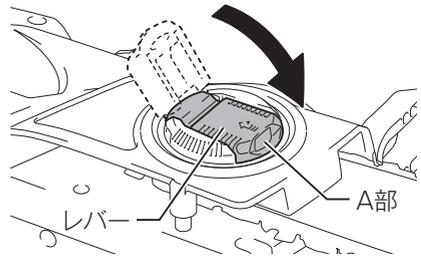
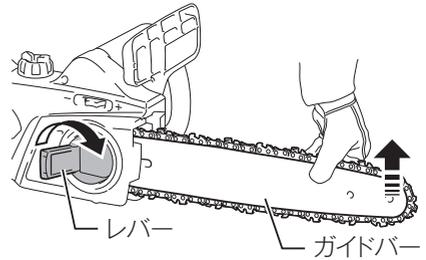


3. ガイドバーの先端を軽く持ち上げて、チェーン刃のカッタ底面がガイドバーに軽く触れるまでつまみを回して調整します。



使い方

- ガイドバーの先端を軽く持ち上げて、レバーを右（時計回り）に回してナットをしっかりと締めます。この際、チェーン刃にたるみがないことを確認してください。
- ガイドバーの中央付近でチェーン刃を軽く持ち上げたときに、チェーン刃のカッタ底面とガイドバーの間にすきまがあることを確認します。
- A部を押し込みながら、レバーを元の位置へ倒します。



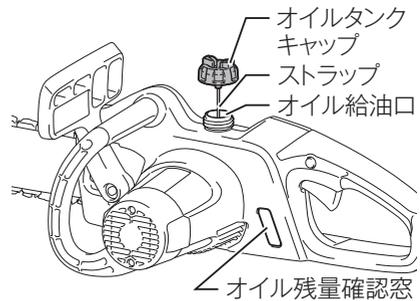
注

- チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の破断、ガイドバーの摩耗、ツマミの破損などの原因になります。
- 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切りくずなどのないきれいな場所で行ってください。

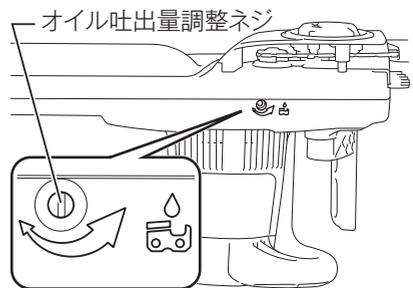
使い方

チェーンオイルについて

- ・チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。
- ・オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認します。
- ・チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れます。容量は約200 mLです。



- ・チェーンオイルの吐出量は本製品の底面にあるオイル吐出量調整ネジを回して調整します (3段階調整)。左に回すと多くなり、右に回すと少なくなります。



注

- ・お使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンクに入れてください。
- ・チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルまたは市販の専用チェーンオイルをお使いください。
- ・ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

使い方

チェーンブレイキ

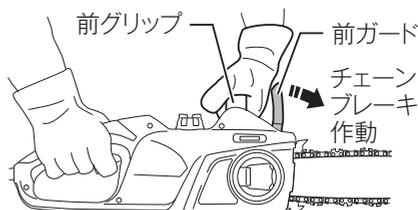
⚠ 警告

ブレーキを解除する前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままブレーキを解除すると急にチェーン刃が回り、事故の原因になります。
- ・ 本製品は万一、キックバック（はね返り）が生じた場合、危険を少なくするためにブレーキ装置を備えています。

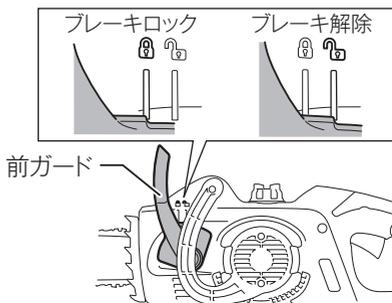
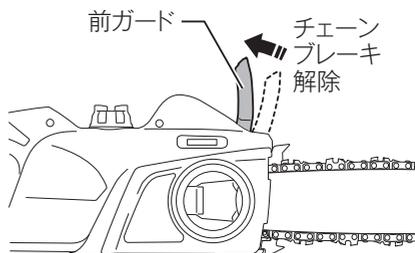
ブレーキの操作

- ・ 本製品の前ガードに前グリップを持っている手の甲がキックバックにより当たって倒れるか、または手の甲で前ガードを前方に倒しますとブレーキが作動し、瞬時にチェーン刃は停止します。



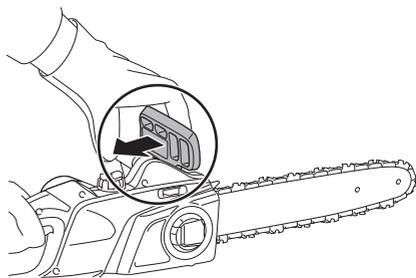
ブレーキの解除

- ・ ブレーキを解除するには前ガードを手前に「カチッ」と音がするまで引き戻します。



使い方

- ・ 引き戻す際、前ガードの本製品との接続部付近（図の○印部）を強く引き寄せます。



注

- ・ ブレーキの作動を作業前に確認してください。
- ・ 使用前にチェンブレーキが作動していないか確認してください。

使い方

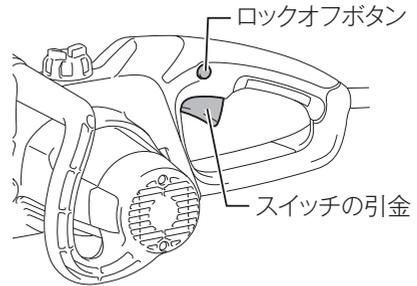
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを挿し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



切断方法

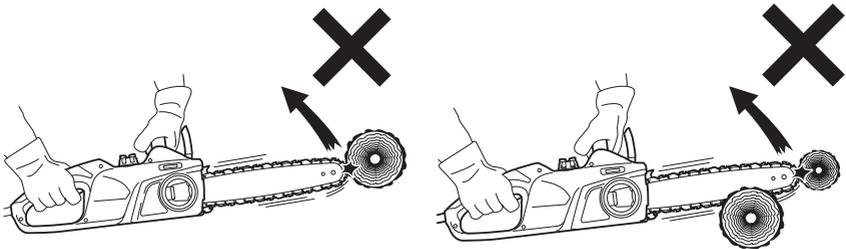
⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

- ・ 本製品がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。



使い方

⚠ 注意

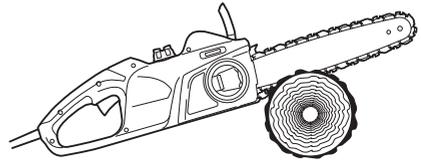
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。

2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

- ・ 事故の原因になります。

- ・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ります。
- ・ 本製品を木材に当てて、そのまま真下へ押して切断します。
- ・ 本製品前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本製品が安定します。



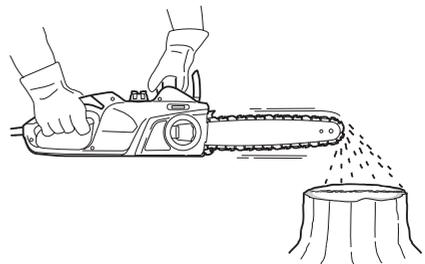
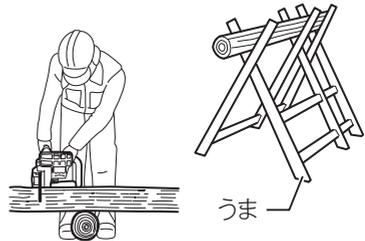
注

- ・ 本製品に無理な力を加えないでください。

チェーンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

- ・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定します。
- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れます。
- ・ ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認します。
- ・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本製品を押して切断します。この際、無理に本製品に力を入れないでください。



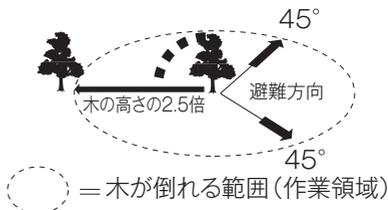
使い方

各種の切断作業例

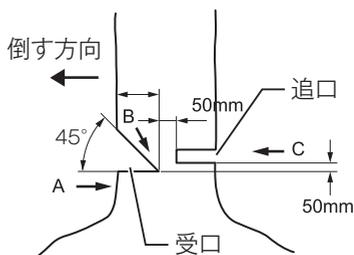
- ・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い上げの販売店に相談して適切な指導を受けてください。

伐木作業（立ち木を倒す作業）

- ・ 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- ・ 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
- ・ 作業中は、木が倒れる範囲（作業領域）内に作業員以外の人や動物などを近づけないでください。

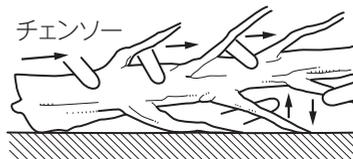


- ・ 図のように木を倒す方向に、直径の1/3程度の切り込みをA、Bの順に入れて受口を作ってください。
- ・ 受口の水平部より約50 mm上部に、受口の水平部と平行に追口Cを切り込んでください。
- ・ 追口の切り込みが樹心を越えまると木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
- ・ 木が所定の方に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したりチェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。



枝払い作業

- ・ 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。
- ・ 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



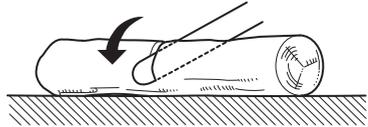
使い方

造材作業（倒した木を切断する作業）

- 丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

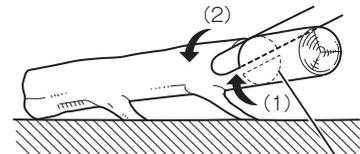
1. 丸太全体が地面に接している場合

- (1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



2. 丸太の一端が支持されている場合

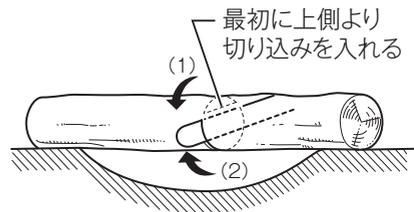
- (1) 最初に丸太の下側より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



最初に下側より切り込みを入れる

3. 丸太の両端が支持されている場合

- (1) 最初に丸太の上部より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



最初に上側より切り込みを入れる

4. 斜面上で丸太を切断する場合

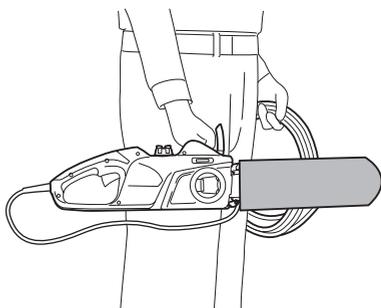
- (1) 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
- (2) 山側に立って、1.～3.の内の適した方法で作業してください。



使い方

チェーンソーの持ち運び

- ・ チェンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをかぶせ、前グリップを持って運んでください。



注

- ・ 本製品を持ち運ぶときは、しっかり保持して落とさないようにしてください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

上刃および横刃の目立て

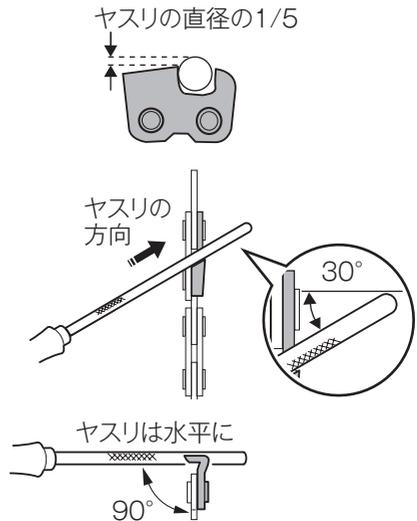
⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

- ・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。



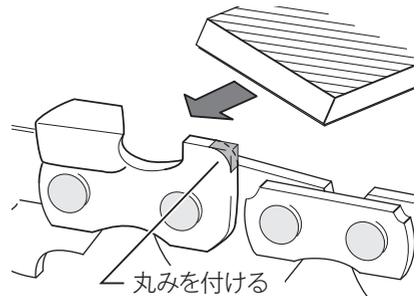
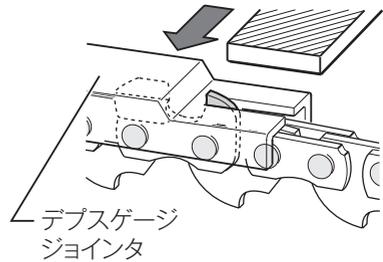
- ・ ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径の1/5 が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。
- ・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



保守・点検について

デプスゲージの調整方法

- ・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正 (0.64 mm) に保つためのものです。
1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。
 2. デプスゲージの角に丸みを付けてください。
 3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。

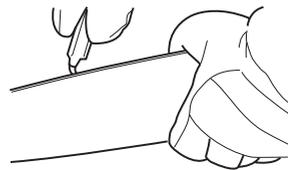


注

- ・ 刃部の目立てには、外径が 4 mm (呼び 5/32") の目立て専用丸ヤスリを使用してください。

ガイドバーの清掃

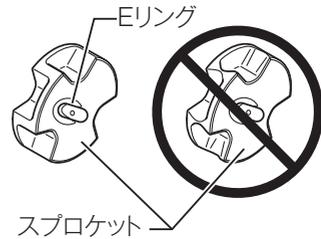
- ・ ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝に詰りますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



保守・点検について

スプロケットの交換

- ・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
- ・ スプロケットの状態がイラストのように摩耗している場合、スプロケットを新品と交換してください。
- ・ スプロケットを交換するときには必ず新品のEリングを使用してください。



本製品の保管

- ・ スプロケットカバーを取りはずし、本製品に付着した切りくずを除去してください。
- ・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・ チェーンカバーをチェーン刃にかぶせてください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本製品を置いて保管してください。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882794F7
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)